

日本子ども社会学会第19回大会

公開シンポジウム



# 東日本大震災 子ども・子ども社会 支援を問う



2012年7月1日(日)

午後1時20分～3時20分 **入場無料**

國學院大學 横浜たまプラーザキャンパス

(東急田園都市線たまプラーザ駅下車 徒歩5分)

## 報告者

★ 子ども支援の視点から

**進士 徹**

(NPO法人 あぶくまエヌエスネット理事長、ふくしまキッズ実行委員会委員長)

★ 復興支援派遣の視点から

**緒方 克行**

(横浜市教育委員会北部教育事務所首席指導主事、横浜市教員災害派遣「石巻子ども学習支援隊」)

★ 学校教育現場の視点から

**目黒 明彦**

(福島市立清明小学校教頭)

## 指定討論者

**藤田 和也**

(國學院大學)

**加藤 理**

(東京成徳大学)

〈コーディネーター・司会〉 **新富 康央**(國學院大學)

※引きつづき、テーマセッション「震災と子ども社会の研究」が開かれます(午後3時30分～5時30分の予定)

【後援】横浜市教育委員会 川崎市教育委員会 相模原市教育委員会 神奈川県教育委員会



## 東日本大震災

### 「子ども・子ども社会支援を問う」

—公開シンポジウムの趣旨—

2011年東日本大震災後、被災地の子どもたちの笑顔にどれだけ“私たち”は元気づけられ、救われたことであろう。

災害復興が始まっているが、当然のことながら、そこに“子ども”という視点が欠けてはならない。被災地域は、この10年間で10%も人口が減少している地域である。この災害によって、社会環境の変質は、本来にあった地域の子どものたちが抱える課題をさらに顕在化させたと言ってもよいであろう。

本シンポジウムを通して、“私たち”は被災を通して、“子ども”という客体をいかに認識し、いかに支援の‘対象’として把握するか、討論を深めたい。

これら討論を通して、子ども支援及び子ども社会支援から、“子ども”のどんな「あるもの」が見えてくるだろうか。

そこで、本シンポジウムでは、被災地で“子ども”“子ども社会”を取り戻すために第一線で活躍している方々をお招きして、子どもたちが置かれている実態と子ども支援の取り組みの実際、そして今後の支援のあり方について示唆していただく。

地域復興への力としての子どもの「あるもの」、例えば「子ども力」などに話し合いが発展することを期待したい。



## アクセス



### たまプラーザ駅南口から徒歩約5分

- 渋谷駅から .....  
東急田園都市線(長津田・中央林間方面行き)  
たまプラーザ駅まで約25分  
\* 運賃240円
- 横浜駅から .....  
横浜市営地下鉄ブルーライン終点あざみ野  
駅で東急田園都市線(水天宮・渋谷方面行き)  
に乗換え、たまプラーザ駅まで約30分  
\* 運賃440円  
(横浜市営地下鉄ブルーライン320円+  
東急田園都市線120円)

## 問い合わせ先

### 日本子ども社会学会第19回大会実行委員会

〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川3-22-1

國學院大學 人間開発学部初等教育学科 新富研究室気付

電話:045-904-7711(人間開発学部教育実践総合センター)

日本子ども社会学会ホームページ <http://js-cs.jp/0001/kodomo/c01.html>